

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	演習
科目名	介助技術演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	406・日常生活動作訓練室
担当教員	阿守 勇介 糸賀 亜美	実務経験と その関連資格	病院リハビリテーション科勤務 姉妹校にて健康づくり指導者養成校教員として勤務 言語聴覚士として障害児施設のリハビリテーションの実務経験あり			
《授業科目における学習内容》						
高齢者施設(デイサービス)や高齢者に関わる現場において必要となる介助技術の基本を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
1、定期試験または実技試験:70% 2、出席評価点:20% 3、平常点(授業態度・レポート):10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
高齢者の身体(仕組み、疾患 等)について復習をしておく。						
《履修に当たっての留意点》						
相手側の立場を理解し、配慮ある心を養うことも重要と考えている						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	高齢者の身体の再復習、補助具について理解できる	配布資料	特になし	
		各コマにおける 授業予定	身体の振り返り、補助具とは			
第2回	演習形式	授業を通じての 到達目標	車椅子の使用方法を理解できる	配布資料	前回の講義について理解していること	
		各コマにおける 授業予定	車椅子の種類、操作方法、介助方法			
第3回	演習形式	授業を通じての 到達目標	歩行補助具の理解できる	配布資料	前回の講義について理解していること	
		各コマにおける 授業予定	杖・歩行器の種類と使用方法、歩行時の介助方法			
第4回	演習形式	授業を通じての 到達目標	移乗(車椅子⇄ベッド)の方法、ベッドの操作方法を学ぶ	配布資料	前回の講義について理解していること	
		各コマにおける 授業予定	身体状況に合った安全な移乗方法			
第5回	演習形式	授業を通じての 到達目標	体位変換を学び車椅子移乗へ繋げる	配布資料	前回の講義について理解していること	
		各コマにおける 授業予定	ベッド上での体位変換(仰臥位～側臥位、仰臥位～端座位、上方移動)・立位・座位介助・車いす・ベッドへの移乗介助			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	身体状況に合った安全な食事介助を学ぶ①	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	トロミの付け方・肢体不自由者に対する座位での食事介助・視覚障害者の食事介助・口腔ケア		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	身体状況に合った安全な食事介助を学ぶ②	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	トロミの付け方・肢体不自由者に対する座位での食事介助・視覚障害者の食事介助・口腔ケア		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	まとめ	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	高齢者介助について総復習		